

設立趣意書

現在、九州においては、福岡県にトヨタ自動車九州、日産自動車九州工場、大分県にはダイハツ九州が立地するとともに、北部九州を中心に関連企業が数多く進出し、今や「カーアイランド九州」と呼ばれるまでに集積が進んでいます。

自動車産業は大変すそ野の広い産業で、構成部品は2～3万点に及ぶとも言われておりますが、その一方で「ジャスト・イン・タイム方式」をはじめとする自動車産業のシステム等により、高い品質、コスト削減、納期の厳守が求められるため、既に取り引実績のある企業と密接な関係が保持されやすく、新規参入の難しい分野でもあります。

このような状況もあり、九州で製造する自動車の部品について、九州域内で調達する比率は現在50%程度となっております。しかしながら、九州の企業から部品を調達する方がコスト的に有利でありますので、今後、九州域内からの部品調達が増加する可能性は高く、九州の地場企業もこれを大きな機会と捉え、参入に向けた様々な取り組みが進められています。

本県は、北部九州に自動車産業が集積している現状からみれば、地理的に不利ではありますが、このような中で県工業会におきましては、「自動車産業関連企業会」を発足させ、北部九州自動車産業への参入へ向けた取り組みを積極的に進めております。

そのような中、東九州自動車道の整備など、将来の交通ネットワークの整備を視野に入れながら、今回、熱意のある県内企業と、県・支援機関等が一体となり、県を挙げて、自動車産業への参入、取引拡大を目指すための様々な取り組みを展開するため、本振興会を立ち上げるものであります。